



さんじょう

八戸市立三条小学校
令和2年度学校だより
第9号
令和2年7月10日
☎ 27-2216



願いは届け

校長
河村雅庸

- 「頭がよくなりますように」
- 「あしがはやくなりたいです」
- 「プロ野球選手になれますように」
- 「ほいくえんの先生になれますように」
- 「みんなが平和でいられますように」
- 「たくさんの人を救える頼もしい医者になりたい」
- 「みんなが平和でいられますように」・・・

数日前から玄関前に、子どもたちの願いが込められた全校児童の短冊が飾られています。先日の七夕にあわせ、玄関前に設置したものです。竹は地域学校連携協議会委員長の上野吉春さんが提供してくださり、短冊用紙の準備とたくさんのきれいな飾りは、学校コーディネーターの石川美穂さんと川崎泉さんが準備してくださいました。お陰様で、玄関前が夢あふれるすてきな空間となっています。登校時、休み時間、下校時など、子どもたちが玄関を通るたびにしている姿も情緒ある風景だなと感じています。

そのような中、一つ一つの短冊を見ていくと、「コロナウィルスが早く終わってみんなが健康でいられますように」「コロナにかかる人がいなくなり、みんながふつうの生活をできますように」「修学旅行に行けますように」というコロナ終息に向けた願いも多くあります。そして、3年生の子の短冊に「みんなのゆめがかないますように」という短冊も。子どもたちの願いが梅雨空を突き抜けてしっかりと天に届き、これからの三条がさらに夢と希望にあふれるよう、子どもたちの純真な夢を応援していきたいと思っています。保護者、地域の皆様でご覧になっていない方は、どうぞ、おいでください。玄関外ですの、土、日でもご覧いただけます。

～学級会、がんばっています～

6月のことになりますが、校内の先生方の授業研究として、5年1組金入学級の学級会を参観しました。学級会は、クラスのことを自分たちで決められる時間。実は、子どもたちがよりよい学級・学校生活をつくるために欠かせない時間なのです。そして、今年度の三条小学校では、全学級で学級会への取組を工夫していくことで、子どもたちに、みんなで話し合いを成し遂げる喜びを味わわせ、自分のよさや友達のよさに気づきながら、ともに高め合う力をつけていきたいと考えています。

参観した学級会では、今月で勤務終了となるALTのエリカ先生に、感謝の気持ちが伝わるお別れ会をしようという議題で話し合いが行われました。子どもたちは司会の子どもたちを中心に、自分たちの感謝の気持ちをどうしたら伝えることができるのか、45分間の中で、真剣に話し合うことができました。

ところで、保護者の皆様は学級会の思い出はありますか。ときには、お子さんと学級会のことを話題にしてみてはいかがでしょうか。(私は苦い思い出の方が多いです...)



～久々のドッジボール～

先日、業間マラソン後の休み時間、校庭にいたら、近くの子どもたちにドッジボールに誘われました。私はドッジボールが大好きで、小学校1年生の頃からほぼ毎日のように、朝7時には学校へ行き、体育館でいろいろな学年が一緒になってのドッジボールを楽しんでいました。「よ～し、腕の見せ所」と思ってたら外野をすることに。さっそくボールが来てチャンス到来。見事アウトにして内野に戻ろうとガッツポーズの私に「内野が2、3人にならないと戻れないよ」と。どうやら、本領発揮は次回になりそうです。少しでも子どもたちとの遊ぶ時間をつくることを心がけていこうと思っています。